

日 時 令和3年11月19日(金) 第5時限 13:30~14:10

場 所 2年教室

学 級 2年(男子8名、女子6名 計14名)

1 単元名 Let's Talk 4 「買い物 ~申し出る・要望を伝える~」

2 単元について

【教材観】

自分が海外旅行先で買い物をするとしたらどんな買い物をするのか、自分の好みや要望を伝えながら買い物をする場面が設定されている。特に服屋での買い物が想定されており、セーターやTシャツ、カバンといった商品の種類、サイズ、色、価格において自分の要望を伝えながら会話を進める活動が提示されている。また、会話の中で使用が想定される表現も下記の通り多く紹介されている。

客の表現	
Can I try this on?	試着してもよいですか。
Do you have anything a little cheaper?	もう少し安いものはありますか。
Do you have this in blue?	青いものはありますか。
I'm just looking. Thank you.	ちょっと見ているだけです。ありがとう。
I need to think about it.	もう少し考えてみます。
店員の表現	
Shall I show you a bigger one?	もう少し大きいものをお見せしましょうか。
It looks nice on you.	お似合いです。
What size(color) are you looking for?	どのサイズ(色)をお探しですか。

買い物において用いる表現は中学校1年生でも学習している。中学校1年生では、”I want~, please.”と自分がほしいものの数を伝える表現や”Here's your change. ~ yen.”と店員が金額を伝える表現を学習している。

【指導観】

外国語科の言語活動においては、コミュニケーションの目的、場面、状況を設定することが重要である。教科書本文では、自分が海外旅行に行ったときに買いたいものを買う会話活動が設定されているが、より身近にするために別の会話活動を設定した。今回の言語活動の目的は「友達

へのクリスマスプレゼントを購入する」こと、場面は「クリスマスマーケット」と設定し、自分で考えて要望を伝えながら買い物をする状況をつくる。

生徒にクラスメイトの名前が書かれたカードを1人1枚ずつ渡し、一人一人がそのクラスメイトに似合うプレゼントを考えて購入する。予算もあらかじめ設定しておき、生徒はその範囲内で相手に似合うものを考えながら商品を比較し、店員との会話を通してプレゼントを決定する会話の流れを想定している。

単元目標では、「買い物でほしいものを探ることができるように、自分の好みや要望を簡単な語句や文を用いて伝える」と設定されているので、評価は生徒が客側である時に行う。しかし、本時では店員役も生徒が行うので、客の要望を聞いて商品をすすめることができないと会話が成立しない。また、客側が要望を伝え、それに見合う商品の金額を店員が提示して終了という一方的な会話ではなく、商品を比較、検討しながら買い物ができるように、店員側も何をすすめるか、どうしてそれをすすめるのか伝えられる思考・判断・表現力が必要である。

【帯活動について】

本単元の買い物の会話活動において、自分の好みや要望を伝えながら買い物するという目標を達成するために、前単元の Unit6 の学習時から毎時間帯活動として即興的な買い物の会話を行ってきた。最初は中学校1年生までに学習した既習知識を用いて自由に自分のほしいものを購入する会話を行った。その後徐々に客と店員それぞれに条件を提示(例：客⇒一番安いTシャツを買いたい、商品の値段はわからない 店員⇒Tシャツの値段を提示)して、インフォメーションギャップの形で会話を行った。その際に Unit6 で学習する比較級(例：Which T-shirt is cheaper?)や最上級(例：I want the most popular T-shirt.)の表現を使う場面も意図的に設定した。また、毎回同じパターンの会話とならないように、売り切れのものがある状況を作るなど、条件を工夫しながら会話活動を重ねてきた。

帯活動での生徒の振り返りをもとに共有した表現の例

客側の表現	店員側の表現
How many <u>sweaters</u> do you want? (セーターはいくつほしいですか。)	Which <u>bag</u> is cheaper? (どっちのかばんの方が安いですか。)
How about this <u>T-shirt</u> ? (このTシャツはどうですか。)	What <u>color</u> do you recommend? (何色がおすすめですか。)
Do you want to try? (試着してみますか。)	Can you gift-wrap this? (ラッピングしてくれませんか。)
I'm sorry, but I don't have <u>the black T-shirt</u> . (すみません、黒色のTシャツは売り切れです。)	I'll take it. (買います。)
<u>500</u> yen is your change. (500円のおつりです。)	

3 単元の目標

○知識・技能

好みや要望を伝える表現の意味や働きを理解できる。【知識】

好みや要望を伝える表現を用いて買い物のやり取りをすることができる。【技能】

○思考・判断・表現力

買い物で目的に合ったものを購入することができるように、自分の好みや要望を、簡単な語句や文を用いて伝えることができる。

○主体的に学習に取り組む態度

買い物で目的に合ったものを購入することができるように、自分の好みや要望を簡単な語句や文を用いて伝えようとしている。

4 単元の指導計画

時	学習活動	習得させたい資質・能力
第1時	・ Let' s Talk 4 の例文を用いて、買い物の場面でよく使用する表現を学ぶ	好みや要望を伝える表現の意味や働きを理解できる。【知識】 好みや要望を伝える表現を用いて買い物のやり取りをすることができる。【技能】
第2時 (本時)	・ 友達へのクリスマスプレゼントを購入する	買い物で目的に合ったものを購入することができるように、自分の好みや要望を、簡単な語句や文を用いて伝えることができる。 【思考・判断・表現】 買い物で目的に合ったものを購入することができるように、自分の好みや要望を簡単な語句や文を用いて伝えようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】
第3時	・ パフォーマンステスト 第2時とは異なる商品内容で自分の好みや要望に合ったものを購入する	買い物で目的に合ったものを購入することができるように、自分の好みや要望を、簡単な語句や文を用いて伝えることができる。 【思考・判断・表現】 買い物で目的に合ったものを購入することができるように、自分の好みや要望を簡単な語句や文を用いて伝えようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】

5 単元の評価規準

知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
好みや要望を伝える表現の意味や働きを理解している。 【知識】 好みや要望を伝える表現を用いて、買い物のやり取りをする技能を身につけている。【技能】	買い物で目的に合ったものを購入することができるように、自分の好みや要望を、簡単な語句や文を用いて伝えている	買い物で目的に合ったものを購入することができるように、自分の好みや要望を、簡単な語句や文を用いて伝えようとしている。

6 本時の目標（第2時）

- 買い物で目的に合ったものを購入することができるように、自分の好みや要望を簡単な語句や文を用いて伝えることができる。【思考・判断・表現】
- 買い物で目的に合ったものを購入することができるように、自分の好みや要望を簡単な語句や文を用いて伝えようとしている。【主体的に学習に取り組む態度】

7 本時の評価基準

○思考・判断・表現力

A	B	C
買い物で目的に合ったものを購入することができるように、自分の好みや要望を簡単な語句や文を用いて伝えるだけでなく、 <u>よりよいものを購入するために商品を比較しながら工夫*1して会話をすすめている。</u>	買い物で目的に合ったものを購入することができるように、自分の好みや要望を簡単な語句や文を用いて伝えている。	自分の好みや要望を伝えて買い物をする事ができていない。

*1 工夫⇒相手にわかりやすい表現をしたり、自分の気持ちや新たな情報を付け足したりすることを指す

【想定する会話例】 S : Shop Clerk(店員) C : Customer(客)

A
S : May I help you? C : Yes, please. I' m looking for a Christmas present for my friend. I want <u>the most popular</u> sweater. (比較級を用いて「一番人気」と明確な表現をしている) S : How about this one? It has many colors and it' s cute. C : Mmm, <u>I want simple one.</u> (気にいらないうきに他の要望を伝える) S : How about this? It' s very popular, too. C : That' s nice!

S : What color are you looking for? White is very cute.
 C : Mmm, My friend likes cool colors. So, I want blue. (新たな情報を付け足す)
 S : OK. And, what size are you looking for?
 C : I want M size for women' s. How much is it?
 S : 30 dollars.
 C : Nice! I' ll take it.
 S : Thank you very much.

B

S : May I help you?
 C : Yes, please. I' m looking for a Christmas present for my friend.
 I want a cute sweater.
 S : How about this one? It has a cute bear on it.
 C : That' s nice. I' ll take it!
 S : What color are you looking for?
 C : I want brown.
 S : OK. How about this?
 C : Good.
 S : What size are you looking for? Men' s or Women' s?
 C : M size for Men' s.
 S : OK. 20 dollars, please.
 C : Here you are.
 S : Thank you very much.

C

自分の好みや要望を伝えて買い物をする事ができていない

○主体的に取り組む態度

A	B	C
<p>買い物で目的に合ったものを購入することができるように、自分の好みや要望を、簡単な語句や文を用いて伝えようとするだけでなく、商品と比較しながら工夫して会話をすすめようとしている。</p>	<p>買い物で目的に合ったものを購入することができるように、自分の好みや要望を、簡単な語句や文を用いて伝えようとしている。</p>	<p>買い物でほしいものを探すことができるように、自分の好みや要望を、簡単な語句や文を用いて伝えようとしていない。</p>

8 本時の展開

	学習活動	指導上の留意点	※評価規準・評価方法
導入	1. 買い物で使える表現の確認	・ 買い物でよく使う表現、 本時までの帯活動において、使ってきた表現の確認をする	
展開	2. 目標を確認する		
	【Today's Goal】 自分の要望や好みを伝えて、目的に合った買い物ができる		
	3. 課題を確認する		
	友達へのクリスマスプレゼントを買うために、あなたはクリスマスマーケットにやってきました。相手が喜ぶプレゼントを選んでください。予算は 30 ドル。相手の好み、似合いそうなもの…よく考えて選んでくださいね！		
	4. 活動の準備と確認		
(1)店員になったときに自分が提示する商品の値段の設定	時間があれば、自分が店員役の時にすすめしたい商品などを考える		
(2)机を向かい合わせでくっつけて、会話の準備と活動のルール確認。	【活動上のルール】 ・ プレゼントを渡す相手の名前は店員に伝えない。 ・ 予算は 30 ドル		
(3)自分がクリスマスプレゼントを買う相手の決定	生徒一人一人にクラスメイトの名前が書かれたカードを手渡し、その相手のためにプレゼントを購入するよう伝える		
5. 活動(1回目)			
・ ペアでの活動 ・ 一人が店員、もう一人が客で会話を行う ⇒役割を交代して再度行う			【主体的に学習に取り組む態度】 ：行動観察 【思考・判断・表現】 ：行動観察

	<p>6. 全体で会話の中で使った表現を確認する</p> <p>7. 活動(2回目) ・ペアを変えて再度クリスマスプレゼントを購入する ⇒店員と客の役割を交代して再度行う</p> <p>8. 活動を通して購入したプレゼントを相手に紹介する</p>	<p>相手に合うプレゼントを買うためにどのような表現を使って会話を行ったのか、生徒から引き出す</p> <p>カードに購入したプレゼントの写真を貼って、一言メッセージとともに、クラスメイトに渡す</p>	
<p>まとめ</p>	<p>9. 振り返り</p>	<p>本時の評価規準をもとに、自分の振り返りを行う</p>	<p>【思考・判断・表現】 : ワークシート 【主体的に学習に取り組む態度】: ワークシート</p>